

中国の記事から（砂糖）

2006年11月20日号

目次

◎ペトロチャイナ、四川省でバイオディーゼル燃料など生産へ
【中国化工報 2006年11月14日】

◎ペトロチャイナ、四川省でバイオディーゼル燃料など生産へ
【中国化工報 2006年11月14日】

ペトロチャイナは8日、四川省との間で同省成都市にてバイオマスエネルギーを開発していく覚書を取り交わした。第11次5ヵ年計画（2006～2010年）期間中、さとうきび、ナンヨウアブラギリを原料とする燃料用エタノールを年間60万トン、バイオディーゼル燃料を同10万トン生産していく。燃料用エタノールはさとうきびを原料に生産。四川省のさとうきび作付面積は1300万ムー（1ムーは6.6アール）。攀枝花、凉山などの地区はナンヨウアブラギリの栽培に適し、自生面積も全国一の規模にある。

四川省は天然ガス資源が豊富であるが原油産出量は年間10万トン余りと少なく、ペトロチャイナは現在、甘粛省蘭州からのパイプラインを通じて四川省、重慶市に燃料を供給している。

本情報は、株式会社日本能率協会総合研究所により
翻訳された中国の新聞記事をもとに、同社の許可を得て
独立行政法人農畜産業振興機構が整理したものです。